

令和3年度 第1回兵庫県のサイクルツーリズム推進に向けた 淡路地域モデルルート推進協議会 議事要旨

1. 日 時 令和3年7月30日(金) 14:00~16:00

2. 場 所 兵庫県洲本総合庁舎 3階 会議室A・B

3. 出席者 出席者名簿のとおり

4. 議 事

- (1) アワイチ利用状況、サイクリストアンケート調査結果について
- (2) 令和2年度の主な取り組み状況について
- (3) ナショナルサイクルルートの自己評価について
- (4) 令和3年度の主な取り組みについて
- (5) 今後の進め方について

5. 議事概要

○主な意見等

(1) アワイチ利用状況、サイクリストアンケート調査結果について

- ・島内3箇所の観光案内所のレンタサイクルでは、利用者はほとんどがチョイ乗りであり、アワイチのためのレンタルはほぼ無い。

洲本市内での食事や、短い区間の観光などで1日かけて回られる方の利用が大多数である。

洲本市の協力もあり、E-bikeやロードバイクも置いているが、シティサイクルの利用が圧倒的に多い。

多い時は年間3,000台、昨年は2,000台の利用があった。

子供のレンタサイクルも増えている。

E-bikeについては、充電スポットが課題であり、また、乗り捨てについての要望もある。

利用者は、30代ぐらいが多く、男女の差はほとんど無いが、昨年は女性の方が若干多かったと思う。

- ・東浦のレンタサイクルショップでは、圧倒的に男性の利用が多い。

グループや学生は男性がほとんどであり、30代以下が多い。

また、本格的なサイクリングを想定しているため、ロードバイクのレンタルが主であり、値段設定も少し高めにしているため、年齢層は高い。

アワイチにチャレンジされる方は（主に福良辺りで）1泊される方が多いが、中には、淡路島が小さいと思っている方もおり、淡路島一周が明石から日本海までの距離と伝えたと、改めて長いと感じられる方もいる。

（淡路島一周の）広さのアピールは、もっとした方が良いと思う。

資料2におけるサイクリストの意見はそのとおりだと思う。

観光協会さんも言っていたが、E-bikeの充電は課題であり、シクリズムでは（荷物にはなるが）充電器を持って、走行していただいている。

出来るのであれば、島内でレンタルするE-bikeのバッテリーを統一すれば、便利だと思う。

(2) 令和2年度の主な取り組み状況について

- ・船舶においてもコロナでお客さんが減っている。

前回の4連休は、1日あたり300台ぐらいだった。

本来であれば、GW中だと600台ぐらいは来るが、今年のGWも300台程度と少なかった。

現在は、台数超過による積み残しはない。

- ・島内バス事業者において、南あわじ市と鳴門市の協力を受けて、徳島線で自転車輸送をしている。コロナで運休もあったが、今年度は（月）平均20名程度の利用があり、コロナ前後でそこまで変化はない。

利用者はアワイチ目的より、徳島に渡る目的の方が多い。

自転車輸送は、今後も継続してく予定。

今年度より、市から依頼があり、年齢層と性別を調べているが、女性の割合は5%程度である。

外国人の方の利用は約1割である。

徳島側からは、朝の便（8:30）での利用が多い。

もう少しPRしていければ、今後も利用者が増加する可能性はあると思う。

- ・高速バスでは、現状、スーツケース等の利用者が多いこともあり自転車は受け入れられない場合もある。安全面では、やはり西浦県道の幅員が狭いこと、乗用車の大型化も伴って、インフラ整備は重要であると思う。

協力出来る部分は、協力していきたい。

- ・島への交通費について、2人以上になると車の方が安くなる。

サイクリストにとって、（交通費は）かなりのネックとなっているので、無料駐車場等の検討もお願いしたい。（観光の邪魔にならない箇所）

→ 岩屋ポートビルの建て替えに伴い、順次駐車場整備も行っていくが、無料となるとなかなか難しい。今、岩屋の方で実施している海上交通の観光ルートに係る駐車場についても、山手の方で駐車場を借りて、ピストン輸送している。

今後、観光部門とも情報共有して、改善出来る部分があれば、取り組んでいきたい。

(3) ナショナルサイクルルートの自己評価について

- ・今年度より国道28号線について、自転車専用通行帯ということで、外側線の外に1.5mの通行帯を設ける事業を、7.5km分進めているが、それ以外についても、今後検討していきたいと考えている。
- ・令和2年度1月に宿泊施設や観光集客施設208店舗に対して、アンケートを実施し、内168件の回答を得ている。

その中で、サイクリストの方が来られているかどうかの質問では、「よく来ている」が10%、「たまに来

ている」が70%、「来ていない」が20%であった。

サイクリストの方に来てもらいたいかどうかの質問に対しては、「来て欲しい」が54%、「どちらかと言えば来て欲しい」が39%、「来て欲しくない」が5%となっており、約95%が来て欲しいと考えているという結果であった。

設備サービスの状況については、約3割が（サイクリスト向けに）トイレの開放を行っており、主に宿泊施設では、自転車保管場所の提供、自転車の受け取り発送サービスを実施しているところが25%程度、サイクルラックの設置、メンテナンス工具の貸し出しも約20%あった。

(4) 令和3年度の主な取り組みについて

- ・資料5のP.3で道の駅高田屋嘉兵の整備について、実際のオープンは、令和6年度以降を予定しており、今年度以降は、基本設計、実施設計に取り組んでいく。

(5) 今後の進め方について

- ・サイクリング中の事故は、単独事故が多く、人身事故として届け出ないことが多い。

日々の報告では、夏休み中やGW中はサイクリストの事故を聞くこともある。

海沿い（水仙郷辺り）山間部での事故が多い。

- ・自転車事故に関しては、ひとたび事故が起きれば、大きな事故になる。

淡路島では、ロングライド150や自転車の観光事業に注力しているので、今後、自転車の交通量の増加が見込まれるため、関係各所と連携しながら、交通関係の整備や取り締まりの強化をしていく必要がある。

ロードバイク関係での事故は、自転車の種類別に統計を取っているわけではないので、正確には不明だが、昨年中も数件、自損や転倒、出会い頭の事故が発生している。

危険箇所としては、多賀の浜のところで、県道を走るロードバイクと三叉路から出てきた自動車との衝突事故があった。

ロードバイクの方は、比較的マナーは良いが、速度がのってくると、衝突による大けがは免れない。

西浦県道に対する不安が大きいため、こちらの環境整備を第一に考えて推進していただきたいと思う。

- ・コロナが落ち着けば、また自転車の人口が増加してくる考えられるので、今後とも、関係機関と連携し、「誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境」をつくれればと思う。
- ・アワイチは時計回りが当然だと考えていると思うが、個人的には逆周りがオススメ。

1つめのメリットとしては、（特に暑い時期は）時計回りでは、午前中は東側の日光を浴びながら、陰のない状態で走り、淡路島は西風が強いので、水仙郷あたりから南側は、向かい風で走行することになる。さらに、西側では西日を受けながら走ることになる。

逆（反時計回り）で考えると、西側はずっと陰で走行でき、南側では追い風になり、東側は、また陰で走ることができる。

デメリットとしては、時計回りの場合、海側からの車の出入りはほとんどないが、反時計回りの場合は、内陸から車が出てくる可能性がある。

後は、反時計回りの方が斜道が緩い。

ただ、(反時計回りだと) 下りの斜道がきついところもあるが、正規の時計回りで走行し、無理に体力を消耗することを思うと、下りをゆっくり走行していただければ、反時計回りの方がメリットが大きいので、そちら(反時計回り)を勧めるのも良いかと思う。

また、昨今の西側のカフェの状況等を見ていただくと、夕方、最も疲れたところで、お店が多い箇所では渋滞に巻き込まれ、集中力も欠けているため、事故になる可能性が高い。

あくまでも、(淡路島を) 1周するという目的であれば、時計回りだけでなく、反時計回りのメリットも推していければ良いとは思う。

・道路環境整備については、これからも、順次、進めていただければと思うが、一般の住民の方と話す機会もあり、その中には、サイクリストの方の走行が危険だと思われる方もいる。

地元の方との調整や話し合い等も実施し、地元に戻元できるような施策も考えていければ、より良い環境づくりが出来ると思う。